

目的 前報では、縦のストライプ柄をとりあげて4枚接ぎのフレアースカートを作製し、スカートを揺動させた場合と静止させた場合のイメージについて検討した。また静置した平面状試料片のイメージとの関係についても検討した。今回はフレアースカートの接ぎ枚数とストライプ柄のイメージの関連について前報と同様の実験を行い、検討した。

方法 ①試料布は市販されている布のなかから、白色との2色配色でストライプ柄が紺色、水色の2種類を選定した。またストライプ幅も2種類とし、計4種類の試料布を用いた。素材は綿ブロードである。②フレアースカートの接ぎ枚数は2枚、4枚、6枚、8枚の4種類を設定した。したがってスカートは計16枚となる。スカート丈は60cm、フレア分量(裾周長)は248.5cmとした。③スカートを大腿部付9号人台に着用させ、静止時および速度108歩/分、腰部の円弧運動角度40度の条件で揺動させたときのイメージをSD法で評価させた。また5度の角度をもつ壁面に静置した60cm×45cmの試料片についても同様に評価させ、統計的に解析した。

結果 ①スカートの接ぎ枚数によるイメージの差は小さいものの、2枚接ぎが他の接ぎ枚数の場合より「快」「美しい」と評価される傾向にあった。②同一のストライプ柄でもスカート形状にすることにより、試料片に比較し「派手な」イメージを受けた。③「かたいー柔らかい」「繊細なー大胆な」「強いー弱い」「はっきりしたーぼやけた」「醜いー美しい」「好きー嫌い」の各イメージはストライプの色と幅に左右され、「冷たいーあたたかい」は色、「痩せたー太った」は幅に左右されやすいことがわかった。